

● 平成 28 年度 第 1 回 『 こどもの糖尿病 』 ●

講 師：広島県立病院 小児科 主任部長 神野 和彦 先生

実施日時：平成 28 年 9 月 6 日（火） 14：00～16：15

会 場：農林庁舎（西部保健所広島支所）

対 象 者：糖尿病の子どもの家族、支援関係者、関心のある方

参 加 者：24 名（家族 11 名 保健師 4 名 養護教諭 1 名 患者会 1 名

その他 7 名）こども 2 名

担当：西部保健所広島支所

● 講演内容

- ① こどもの糖尿病について
1 型・2 型、その他の糖尿病
- ② 2 型糖尿病について
食事療法・運動療法・薬物療法
- ③ 1 型糖尿病について
インスリン療法・カーボカウントなど
- ④ 最新の治療・HbA1c 推移・合併症など



● アンケート結果より

<参加のきっかけ>

「糖尿病治療の最新情報が学びたかった」「職場（行政・教育）での業務の参考のため」

「同じ 1 型糖尿病のこどものご家族と話がしたかった」「今まで参加したことがなかったので」

<参加された方の感想>

「日々薬も進歩していると分かってよかった」「病院で何となく聞いていた単語などの意味も分かった」

「新しい情報も得ることが出来、とても役に立つ内容だった」「年齢や性別特有の悩みも聞くことが出来た」

● 相談員から一言

今回は就学前から中学生までの年代のお子さんのご家族に参加していただきました。こどもの糖尿病はきちんと治療をしていくことにより、将来的な合併症の出現もかなり抑えられる事も分かり、参加された方への安心材料となりました。

幼少期に発症し、成長するにつれ就園就学や自立の問題などご家族と本人の抱える悩みもさまざまです。後半の交流会では神野先生と「もみじの会」ピアサポーターから貴重な助言や体験談もいただきました。病気のことについてただ悲嘆ばかりせず、「病気を正しく理解し支えあっていこう」というピアサポーターからのお話が身に染みました。病気を持つこどももいつか自立していく、そのため周囲の理解も必要です。相談室でも情報発信などで少しでもそのサポートが出来ればと思います。

